

炎が勢よく燃え上がり、竹がはじける音が響いた



新年の無病息災を祈って 七ツ家地区ほんげんぎょう

1月7日、七ツ家地区でほんげんぎょうが開催されました。同地区で30年以上行われている伝統行事に地域住民50人が参加しました。子ども会や地域住民などが竹やワラで高さ5mのやぐらを作成。その中に持ち寄ったしめ縄などの正月飾りを入れ、点火するとやぐらは瞬く間に燃え上がり、参加者は新しい年の無病息災や家内安全などを願いました。6年生の梅崎琥太郎君は「炎の迫力がすごかった。今年は病気せずに健康で過ごしたい」と話してくれました。

最優秀賞に輝いた彌永さん（左）と川島さん（右）



豊かな感性を五・七・五で表現 ヤング川柳大会の入選者が決定

第28回ヤング川柳大会の表彰式が12月11日、あめんぼセンターでありました。小中学生が応募した1871点の中から、18点が入賞。小学生の部でニッ河小5年の彌永海斗さん、中学生の部で三橋中3年の川島さゆりさんが最優秀賞に輝きました。金、銀、銅賞は次のとおりです。(敬称略)【小学校の部】▷金賞=田尻希子(蒲池1)▷銀賞=椋島奏志朗(昭代第一6)▷銅賞=濱川希一(柳河4)【中学生の部】▷金賞=中島悠仁(昭代3)▷銀賞=井上琉羽(柳城3)▷銅賞=池田燈(柳南1)

相手のスパイクに2人でブロックを試みる昭代中の選手



ボールが落ちるまで諦めない 中学生バレーボール大会で昭代中が奮闘

12月25日、市民体育館で中学生バレーボールの筑後京築地区大会が開催されました。大会には、同地区から19チームが参加。選手たちはチームメイトやコーチ、保護者の声援を受けながら、激しいラリーを展開しました。ラインぎりぎりを狙ったスパイクや相手の意表を突く速攻が決まると、大きな歓声を送られていました。市内から唯一出場した昭代中学校は、息の合った攻撃と、ボールが落ちるまで諦めない粘りを見せていましたが、あと一歩及びませんでした。

カブラの積み上げには親子の協力が大事



どこまで高く積めるかな 親子カブラ積み木体験を開催

中央公民館は、12月17日に親子カブラ積み木体験を開催しました。カブラは、フランス生まれの木製ブロックで、イメージしたものを何でも作ることができると言われています。この日は、8組22人の親子が参加。創造力や集中力を働かせ、クリスマスツリーやかまくらを作りました。お父さんと参加した櫻木結乃香さん(豊原小2)と心結さん(6歳)姉妹は「カブラ積み木は初めて。お父さんと協力して自分の身長より高く積めて楽しかった」と話してくれました。



会場で再会した友人と記念撮影をしたり、式典で抱負を述べたりする参加者



枡を乗せた簀の上に液状の海苔を流し込んで板状に



海苔づくりの伝統を次世代へ 両開小4年生が海苔すき体験

12月20日、両開小学校の児童がむつごろうランドで海苔すきを体験しました。これは、昔ながらの海苔づくりを次世代に伝えようと、柳川むつごろう会と両開漁協組合が協力して毎年行っているもの。体験した4年生29人は、枡を乗せた簀の上に海苔を均等に流し込むのに悪戦苦闘。それでも同会の関真喜雄会長らのアドバイスでみるみる上達し、次々と海苔を板状にしていきました。海苔が大好きという山田晴毅君は「枡の隅から素早く流し込んだらうまかった」とご満悦でした。

専用車両の中では一度に3人が受講できる



思ったより簡単で便利 2月末まで出張スマホ教室開催中

市は、昨年11月から市役所各庁舎で出張スマホ教室を開催しています。12月16日、専用車両の中では、60代と70代の参加者3人が受講していました。参加者はモニターから語りかける講師の話を見聞きしながら、スマホのカメラ機能や地図を操作。受講した女性は「さっそくカメラ機能を使ってたくさん写真を撮りたい」と心はずませていました。同教室は2月24日まで毎週木曜と金曜に開催中です。受講の申し込みは(☎0800・111・9442)まで。



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係 (☎77・8425)